

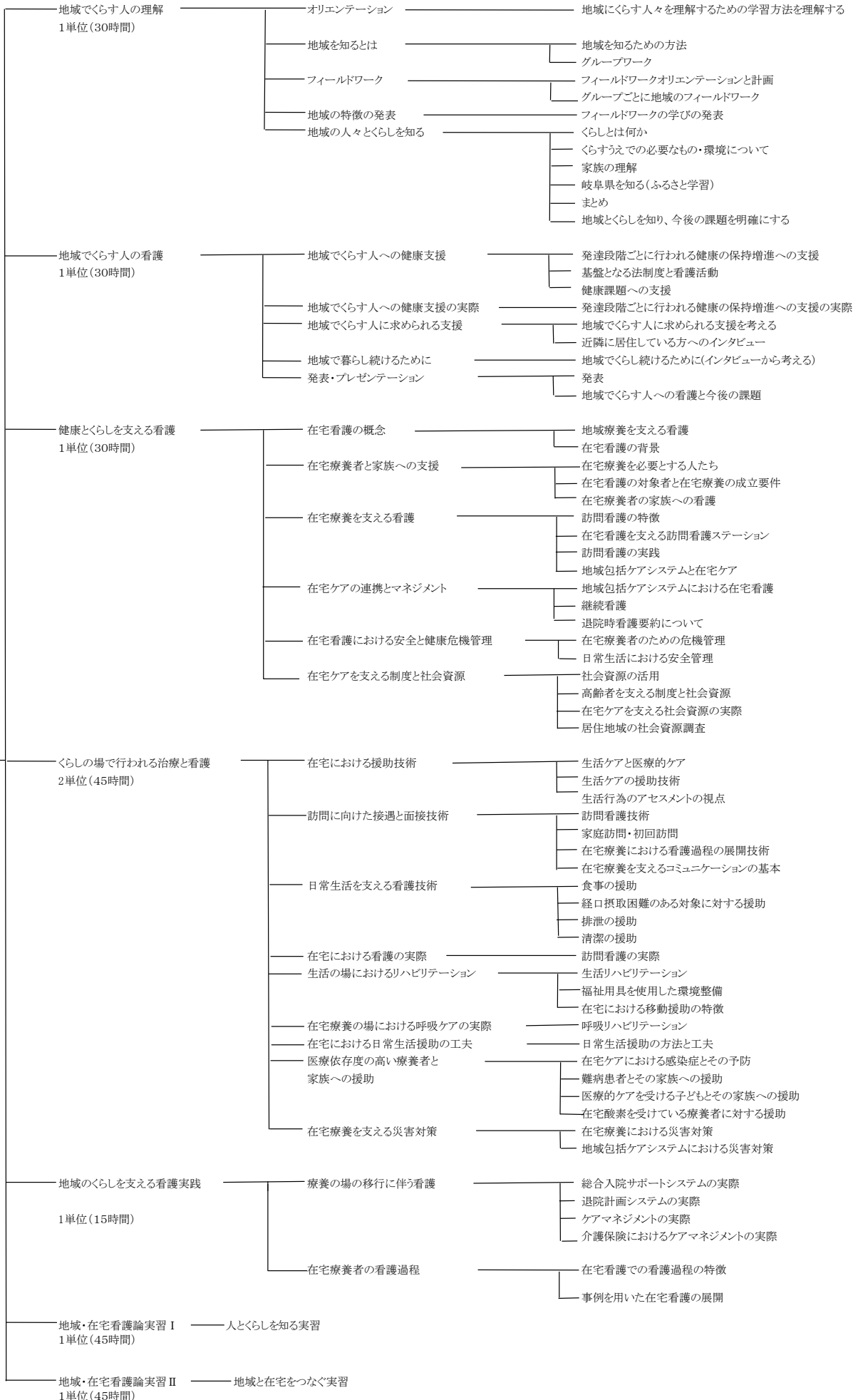
第一看護学科 地域・在宅看護論

目 的 看護の対象は、地域で療養・生活する多様な人々であることを理解する。
また、チーム医療における看護及び多職種の役割を理解し、協働しながら、
多様な場でくらす人々の健康を支援するための基礎的能力を養う。

- 目 標
- 1 生活の場としての地域（コミュニティ）を理解し、健康との関連性について考えることができる。
 - 2 多様な場でくらす人々の健康保持増進にむけた、健康上の課題を解決する支援について理解できる。
 - 3 地域ケアシステムの目的と機能、及びネットワークの必要性が理解できる。
 - 4 地域でくらす人々を支援するための多職種連携・協働・調整及びチーム医療のあり方を理解できる。
 - 5 地域・在宅看護の対象となる人とその家族について理解し、その特性をふまえた看護について理解できる。
 - 6 個人・家族の多様性（文化・慣習・健康観・価値観・生きる力）を理解し、尊重した態度で接することができる。

地域の暮らしを支える看護 構成図
第一看護学科

専門分野
地域・在宅看護論



授業科目	地域でくらす人の理解	担当教員	専任教員☆ ① 非常勤講師	単位数	1	時期	1年次 4月～7月
			② 岐阜県統計課職員	時間数	30		
目的と目標	地域の人々の暮らしを知り、暮らしが健康に与える影響を考える。 1 人間が地域でくらすとはどのようなことかを考える。 2 地域にくらす人々の生活を理解し、地域とそこにくらす人々の健康との関連を考える。 3 自身がくらす地域に興味・関心が持てる。						
回数	学習課題	内 容			方 法	担当教員	
1	オリエンテーション	(1) 地域にくらす人々を理解するための学習方法を理解する ①学習目的、学習目標、科目の進め方、評価について理解する			講義	専任教員	
2	地域を知るとは	(1) 地域を知るための方法			演習		
3		(2) グループワーク					
4		(3) フィールドワークオリエンテーション フィールドワーク計画					
5	フィールドワーク	(1) グループごとに地域のフィールドワークを実施			演習		
6							
7	地域の特徴の まとめ及び発表	(1) フィールドワークの学びのまとめ			臨地 演習		
8							
9							
10		(2) 発表・プレゼンテーション					
11	地域の人々とくらし を知る	(1) くらしとは何か			講義 演習		
12		(2) くらすうえでの必要なもの・環境について考える					
13		(3) 家族の理解					
14	岐阜県の特徴と人々の暮らしを知る	(1) 岐阜県を知る (ふるさと学習) ①岐阜県の特徴 (土地や自然) ②人口の推移、今後の予測 ③岐阜県民の健康について			講義	非常勤講師 (岐阜県統計課職員)	
15	まとめ (1h) レポート試験 (1h)	(1) 地域とくらしを知り今後の課題を明確にする			演習 試験	専任教員	
評価方法	演習課題 40点、GWの取り組み姿勢 10点、レポート試験 50点 合計 100点 *再試験の場合、レポート100点分で評価する						
教科書 参考文献	専門分野 地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論I (医学書院)						
事前準備や 受講要件等	適宜、提示する課題について、期限を厳守して提出すること。 学校で提示する傷害保険に加入しておくこと。						
☆担当教員の 実務経験	①医療機関に勤務した経験を活かした授業を展開する。						

授業科目	地域でくらす人の看護	担当教員	①専任教員☆ 非常勤講師☆ ② 寺田道夫 ③ 丸山久美 ④ 保健師 ⑤ 医療機関看護師	単位数	1	時期	2年次 7月～11月			
			時間数	30						
目的と目標	<p>地域でくらす人がどのように健康の保持増進をしながら生活しているのかを理解し、地域でくらし続けるために必要な看護について学ぶ。</p> <p>1 地域でくらす人の健康保持増進、疾病予防のための保健活動について理解できる。</p> <p>2 発達段階ごとに生じやすい健康課題について理解し、健康課題を解決するための支援のあり方を考える。</p> <p>3 地域でくらす対象の、特性に応じた支援の基盤となる法制度と看護活動について理解する。</p>									
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員					
1	地域でくらす人への健康支援	(1) 発達段階ごとに行われる健康の保持増進への支援		講義 演習	専任教員					
2		(2) 基盤となる法制度と看護活動								
3		(3) 健康課題への支援（グループワーク）								
4	地域でくらす人への健康支援の実際	(1) 発達段階ごとに行われる健康の保持増進への支援の実際		講義	非常勤講師 (寺田道夫)					
5		①働く人への健康支援活動メンタルヘルス								
6		②成人を対象とした健康管理の実際		講義				非常勤講師 (保健師)		
7		③看護師の健康問題と健康管理の実際		講義						
8	地域でくらす人に求められる支援	④高齢者への健康支援活動		講義	非常勤講師 (丸山久美)					
9		(1) 地域でくらす人に求められる支援を考える		演習 臨地				専任教員		
10		(2) 近隣に居住している方へのインタビュー								
11	地域でくらし続けるために (3時間)	(1) 地域でくらし続けるために～インタビューから考える～		演習						
12		(2) 発表								
13		(3) 地域でくらす人への看護と今後の課題								
14	発表	まとめ 筆記試験		演習						
15	試験 (1時間)									
評価方法	筆記試験 50点 課題 レポート 50点									
教科書 参考文献	医療福祉総合ガイドブック (医学書院) 国民衛生の動向 (厚生労働統計協会) 他、 配布資料									
事前準備や 受講要件等	適宜、提示する課題について、期限を厳守して提出する。									
☆担当教員の 実務経験	<p>①⑤看護師として医療機関等に勤務した経験を活かした授業展開をする。</p> <p>②臨床心理士として勤務した経験を活かした授業展開をする。</p> <p>③社会福祉士として地域包括支援センターに勤務した経験を活かした授業展開をする。</p> <p>④保健師として勤務した経験を活かした授業を展開する。</p>									

授業科目	健康とくらしを支える看護	担当教員	専任教員☆	単位数	1	時期	2年次 4月～9月
	時間数		30				
目的と目標	<p>地域・在宅看護論の対象と看護の基盤となる概念を理解し、地域で生活・療養する人とその家族を支える保健・医療・福祉についての知識を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域・在宅看護の意義と特徴について理解できる。 2 地域・在宅看護の対象となる地域で生活・療養する人とその家族の特徴が理解できる。 3 家族の健康管理の必要性和家族の機能について理解できる。 4 療養者を抱える家族の介護負担と危機的状況が理解できる。 5 介護保険制度と訪問看護制度の理解ができる。 6 継続看護の意義と多職種連携・協働のポイントが理解できる。 7 在宅ケアを支える制度と社会資源が理解できる。 						
回数	学習課題	内 容			方 法	担当教員	
1 2 3 4 5 6 7 8	在宅看護の概念 在宅療養者と家族への支援 在宅療養を支える看護	<p>(1) 地域療養を支える看護</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 在宅看護とは (在宅ケア・地域看護・訪問看護の概要) <p>(2) 在宅看護の背景</p> <ol style="list-style-type: none"> ①日本の在宅看護の変遷と今後の課題 <p>(1) 在宅療養を必要とする人たち</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 発達段階からみた対象者の特徴 ② 健康レベルからみた対象者の特徴 ③ 障害からみた対象者の特徴 <p>(2) 在宅看護の対象者と在宅療養の成立要件</p> <p>(3) 在宅療養者の家族への看護</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 家族とは (家族システム理論) ② 家族の介護力のアセスメントと調整 ③ 在宅療養者の家族への看護 <p>(1) 訪問看護の特徴</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 訪問看護とは ② 訪問看護制度と現状 ③在宅看護特有の倫理問題 <p>(2) 在宅看護を支える訪問看護ステーション</p> <ol style="list-style-type: none"> ①訪問看護の実践 <p>(3) 地域包括ケアシステムと在宅ケア</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地域包括ケアシステムの体制 ② 在宅ケアのシステムと多職種チーム ③ 在宅ケアの目的と看護の特徴 			講義 演習 講義 講義	専任教員	

回数	学習課題	内 容	方 法	担当教員			
9	在宅ケアの連携と マネジメント	(2) 地域包括ケアシステムにおける在宅看護 ① 看護が担うケースマネジメント・ケアマネジメントの概要 ② 介護保険制度におけるケアマネジメント ③ ケアマネジメントの過程	講義 演習				
10		(3) 継続看護					
11		① 入退院時における医療機関と訪問看護の連携 ② 退院時看護要約について					
12		在宅看護における 安全と健康危機 管理			(1) 在宅療養者のための危機管理 (2) 日常生活における安全管理		
13		在宅ケアを支える			(1) 社会資源の活用 (1h)	講義	
14		制度と社会資源			① フォーマル・インフォーマル資源 ② 人的・物的資源		
15		(5h)			(2) 高齢者を支える制度と社会資源 (3) 在宅ケアを支える社会資源の実際 *夏季休業課題：「居住地域の社会資源調査」 ①演習 ②発表		演習
		試験 (1時間)			(1) 筆記試験	発表 試験	専任教員
評価方法		筆記試験 100点					
教科書 参考文献		在宅看護論① 地域療養を支えるケア (MC メディカ) 在宅看護論② 在宅療養を支える技術 (MC メディカ) 医療福祉総合ガイドブック (医学書院) 国民衛生の動向 (厚生労働統計協会) 他、 配布資料					
事前準備や 受講要件等		適宜、提示した内容について、期限を厳守して提出する。					
☆担当教員の 実務経験		看護師として医療機関等に勤務した経験を活かした授業展開をする。					

授業科目	くらしの場で行われる治療と看護	担当教員	①専任教員☆ 非常勤講師☆ ②野崎加世子 ③大羽正美 ④理学療法士 ⑤浅野崇 ⑥高橋陽子 ⑦丹羽佳恵 ⑧長縄保宏	単位数	2	時期	2年次 11月～3月
			時間数	45			
目的と目標	<p>地域・在宅看護を展開できるための看護師の姿勢及び日常生活援助技術や、教育的なかかわりについて学び、安全に実施できるための方法と留意点を理解する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生活の場に訪問する際に必要な準備とマナーについて理解し、信頼関係形成に必要な姿勢と態度がわかる。 2 在宅療養者の日常生活を生活行為として総合的にとらえ、日常生活への援助技術や教育的なかかわり方について考えることができる。 3 福祉用具の活用に向けた支援方法を理解する。 4 在宅で医療処置を受けながら生活する療養者とその家族を支援するための援助方法が理解できる。 5 在宅で医療処置を受けながら生活する療養者とその家族を理解し、安全管理及び予防的ケアの重要性を理解する。 						
回数	学習課題	内 容		方法	担当教員		
1	在宅における援助技術	(1) 生活ケアと医療的ケア (2) 生活ケアの援助技術 (3) 生活行為のアセスメントの視点		講義 演習	専任教員		
2	訪問に向けた接遇と面接技術	(1) 訪問看護技術 (2) 家庭訪問・初回訪問 (3) 在宅療養における看護過程の展開技術 (4) 在宅療養を支えるコミュニケーションの基本		講義	専任教員		
3					非常勤講師 (野崎加世子)		
4	日常生活を支える看護技術	(1) 食事の援助 ①在宅における食生活上のアセスメント ②自立のための自助具の利用		講義	専任教員		
5		(2) 経口摂取困難のある対象に対する援助 ① 中心静脈栄養法 ② 経管栄養法 (経鼻、胃瘻、腸瘻)					
6		(3) 排泄の援助 ①在宅における排泄アセスメント ②自立のための排泄用具の活用 ③排便困難な対象への排便コントロールの援助		講義	専任教員		
7		(4) 清潔の援助 ①在宅における清潔ケアの特徴 ②清潔保持のための家族への指導 ③在宅における清潔援助の方法		講義	専任教員		
8	在宅における看護の実際	(1) 訪問看護の実際		講義	非常勤講師 (大羽正美)		
9	生活の場におけるリハビリテーション	(1) 生活リハビリテーション ① リハビリテーションの考え方 ② 生活環境の調整 (住宅改修) (2) 福祉用具を使用した環境整備 (3) 在宅における移動援助の特徴		講義	非常勤講師 (浅野 崇)		
10	在宅療養の場における呼吸ケアの実際	(1) 呼吸リハビリテーション		講義	非常勤講師 (理学療法士)		

回数	学習課題	内 容	方法	担当教員
11 12 13	在宅における 日常生活援助の工夫	(1) 日常生活援助の方法と工夫	講義 演習 発表会	専任教員
14	医療依存度の高い療養者 と家族への援助	(1) 在宅ケアにおける感染症とその予防 ① 対応のポイント ② 在宅療養者によくみられる感染症	講義	
15		(2) 難病患者とその家族への援助 ① 難病とは ② 難病支援システム	講義	
16 17		③ ALS 患者の看護 ④ 人工呼吸器使用時の看護		
18		(3) 医療的ケアを受ける子どもと その家族への援助	講義	非常勤講師 (高橋陽子)
19 20		(4) 在宅酸素を受けている療養者に対する 援助 ① 在宅酸素を受ける療養者の看護の実際 ② 災害時の対応と看護	講義 演習	非常勤講師 (丹羽佳恵)
21 22	在宅療養を支える 災害対策	(1) 在宅療養における災害対策 (2) 地域包括ケアシステムにおける災害対策	講義	非常勤講師 (長縄保宏)
23	試験 (1 時間)	(1) 筆記試験	試験	専任教員
評価方法	筆記試験 100 点			
教科書 参考文献	在宅看護論① 地域療養を支えるケア (MC メディカ) 在宅看護論② 在宅療養を支える技術 (MC メディカ) 配布資料			
事前準備や受 講要件等	基礎看護学、老年看護学で関連する部分の復習			
☆担当教員の 実務経験	①～③看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。 ④～⑤理学療法士として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。 ⑥～⑧看護師として施設や企業に勤務した経験を活かした授業展開をする。			

授業科目	地域のくらしを支える 看護実践	担当教員	専任教員☆ ① 医療機関看護師	単位数	1	時期	3年次 4月～5月
			非常勤講師☆ ② 原 啓子 ③ 井奈波秀 ④ 中川みのり ⑤ 高木一充	時間数	15		
目的と目標	<p>地域で生活する人々とその家族の看護について学ぶ。</p> <p>1 在宅看護の展開のプロセスが理解できる。</p> <p>2 ケアマネジメントを含めた在宅看護の実際を理解できる。</p> <p>3 施設看護から在宅看護への継続の実際を理解できる。</p> <p>4 在宅療養者支援のための多職種連携の実際について理解できる。</p>						
回数	学習課題	内 容			方法	担当教員	
1	療養の場の移行に伴う 看護	(1) 総合入院サポートシステムの実際			講義	非常勤講師 (原 啓子)	
2		(2) 退院計画システムの実際			講義	非常勤講師 (井奈波秀)	
3		(3) ケアマネジメントの実際			講義	非常勤講師 (中川みのり)	
4		(4) 介護保険におけるケアマネジメントの実際					
5	在宅療養者の看護過程	(1) 在宅看護過程の特徴			講義	非常勤講師 (高木一充) 専任教員	
6		(2) 事例を用いた在宅看護の展開					
7							
8	筆記試験 (1時間)	(1) 筆記試験			試験	専任教員	
評価方法	1～4を含む 筆記試験 合計100点						
教科書 参考文献	<p>在宅看護論① 地域療養を支えるケア (MCメディカ)</p> <p>在宅看護論② 在宅療養を支える技術 (MCメディカ)</p> <p>強みと弱みからみた 在宅看護過程+総合的機能関連図 (医学書院)</p> <p>適宜、提示する課題について、期限を厳守して提出する。</p>						
事前準備や 受講要件等	<p>在宅看護の事例を用いて学習する。</p> <p>提示する課題については期限を厳守して提出する。</p>						
☆担当教員 の実務経験	<p>① 看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。</p> <p>②～④看護師として医療機関や施設に勤務した経験を活かした授業展開をする。</p> <p>⑤ケアマネージャーとして施設に勤務した経験を活かした授業展開をする。</p>						